着物の船内服

メンバーproduction 亀屋 結佳 平岡 優 西村 優汰 能美 風人 presentation 明山 美法 岡本 菜乃香 石川 詩織音 松田 愛優奈

poster 水津 さくら

山口県立萩商工高等学校 山根 華緒

1.プロジェクトの目的

着物の船内服を考案することで、宇宙飛行士に着用していただく。

それにより、日本文化(萩市)の素晴らしさについて知る機会を設け、

メディア等で配信することにより国際理解の懸け橋としたい。



2. 背 累

各国の宇宙飛行士は、ISSなど限られた空間で長期間滞在することとなる。そのため、各国が協力し、お互いを理解する象徴の場であることが求められる。(宇宙開発の可能性)

また、コロナ禍の影響もあり日本をはじめ各国の交流が抑制されており、これまで以上に情報共有が重要であると考えた。

3.期待される効果

着物の船内服を作る

宇宙ステーションでの 国際交流

文化の共有

観光産業の再生や宇宙開発 の可能性、身近な宇宙旅行が 可能になる。

コロナの情報やワクチンの共 有で感染症を消滅させるこ とが期待される。

4. 生地の燃焼実験

燃焼実験(JISL1091A4法(垂直法))



目的 船内作業での電気火災等の対策の一つとして難燃繊維の安全性を試す。

方法 JISL1091A4法(垂直法)によりメーカーの規格表と併用 し実施した。











参考文献

寺門 和夫

宇宙開発の未来年表

石田 真康

宇宙ビジネス入門

山**崎 直子** 宇宙建築

油井 亀美也

星宙の飛行士

5.生地の臭気実験

目的 各繊維の臭いについての特性を試す。

方法 J I SK0804法(ガス検知管)



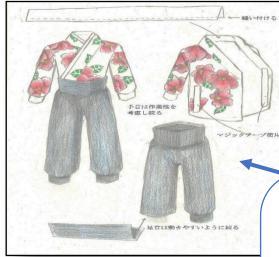
結果







6.着物の船内服



船内服の

繊維素材

を採用。

○上着については、消臭性能

に優れている東レ 7772KPLA2

○袴(ズボン)については、特

に難燃性に優れている東レ

4180-MDB を採用。

船内服の

工夫箇所

美しさ

○前合わせは、着崩れを防止するためマジックテープを活用。

安全性

○袖及び裾は機械等で引っ掛かりを防止するため絞る。

利便性

○船内作業時に工具等を和服 に入れることが可能なポケットを 設けた。(取り外し可能)

デザイン性

○ハイウエスト部分には市松模様を採用した。

7.今後の取り組みとして

(1) JFS(日本宇宙フォーラム)に試作品を発送しアドバイスをいただくとともに、必要である実験で検証・改善を図り、実用化を目指す。

(2)専門科目で着物を活用した宇宙開発の可能性を模索する。

○観光ディスカバリーの創造〔商業系学科〕

•体験型観光の創出 •各国の伝統文化の発信

-天体観測(地球観測)

○宇宙ホテルの設計〔工業系学科〕



